国立国会図書館を使いこなす（3）国立国会図書館が作成した書誌データの利用方法

1.書誌データの特長

1

・NDLでは、納本制度に基づいて国内の出版物を網羅的に収集し、全国書誌を作成しています。

<納本対象資料>
- 図書、雑誌、新聞、地図などの紙資料
- マイクロ資料、録音・映像資料、電子資料（CD-ROMなど）
- 電子書籍・電子雑誌
  ※有媒体資料とは別に「全国書誌（電子書籍・電子雑誌編）」を作成

1.書誌データの特長 ①豊富なデータ量

2

	書誌データ件数（概数）（R2年度追加/累積）
日本語図書	11万／526万件
日本語雑誌	1,774／17.5万件
日本語新聞	89／2.9万件
映像資料	10,000／16.8万件
録音資料	15,000／67.1万件
地図資料	6,400／29.8万件
楽譜資料	3,400／1.6万件

1.書誌データの特長 ②広範囲な資料

3

令和元年度の納本制度による資料受入数（概数）

民間出版物 約44.9万点

- 出版社、新聞社、レコード会社… ▶ 図書、雑誌、新聞、地図、CD、DVD… 絵本、紙芝居、楽譜… ／ 一般に流通する資料
- 企業・団体、私立大学、民間シンクタンク… ▶ 社史、学会誌、紀要、調査レポート… ／ 一般に流通しにくい資料
- 国の諸機関、国公立大学、地方公共団体… ▶ 要覧、予算・決算書、審議会資料、小冊子… ／ 一般に流通しにくい資料

官庁出版物 約11.1万点

2. 書誌データの提供サービス

4

国立国会図書館サーチ

国立国会図書館で利用できる資料　他機関の所蔵資料や情報
○オンライン資料　○新着書誌

- 外部提供インタフェース（API）で取得（DC-NDL形式）→ ・図書館システムで目録作成 ・文献リスト作成 ＊アプリやツールで利用
- ダウンロード（MARC形式）→ ・図書館システムで目録作成

JAPAN/MARCデータ（毎週更新）（NDLホームページ）

前週木曜から水曜までに作成完了または更新した全国書誌データ
×オンライン資料　×新着書誌

- ダウンロード（MARC形式）→ ・図書館システムで目録作成

NDL ONLINE

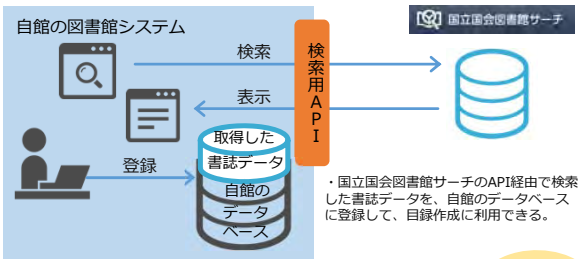
国立国会図書館で利用できる資料
○オンライン資料　×新着書誌

- ダウンロード（TSV、BibTex形式）→ ・文献リスト作成

詳しくは…
国立国会図書館>書誌データの作成および提供>書誌データの提供
https://www.ndl.go.jp/jp/data/data_service/index.html

2-1.図書館システムで目録作成に利用する—NDLサーチから

5



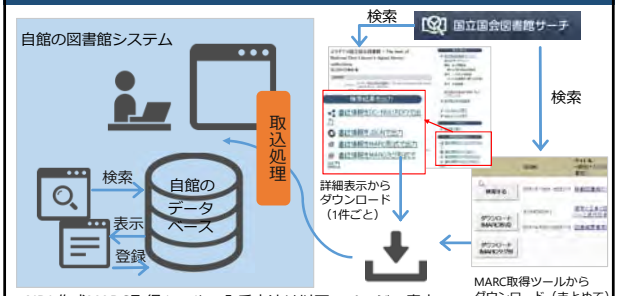
・国立国会図書館サーチのAPI経由で検索した書誌データを、自館のデータベースに登録して、目録作成に利用できる。

・当館の書誌データに対応した図書館システムを以下のページで紹介
国立国会図書館書誌データ対応システム一覧
https://www.ndl.go.jp/jp/data/data_service/jnb/system_list.html

52システムが対応（2021年1月現在）

2-1.図書館システムで目録作成に利用する —NDLサーチから

6

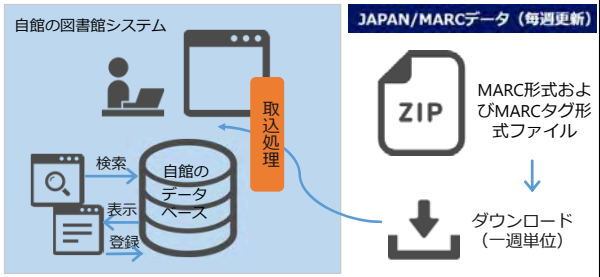


・NDL作成MARC取得ツールの入手方法は以下のページで案内
全国書誌データ
https://www.ndl.go.jp/jp/data/data_service/jnb/index.html#tool

2-1.図書館システムで目録作成に利用する —NDLホームページから

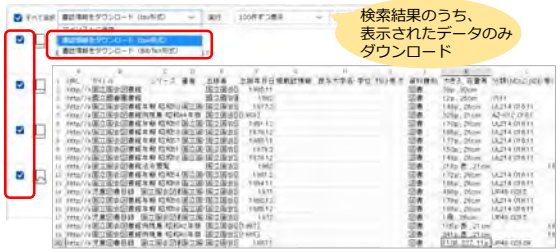
7

https://www.ndl.go.jp/jp/data/data_service/jnb_product.html



2-2.文献リストを作成する —NDLオンラインから

8



- Excelで扱いやすいTSV形式、参照文献として利用できるBibTex形式でダウンロードできる
- TSV形式の書誌データは、タイトルや出版者など主要な19項目
- 新着書誌情報は含まれていない
- 画面に表示された検索結果しかダウンロードできない

3. 典拠データとWeb NDL Authorities

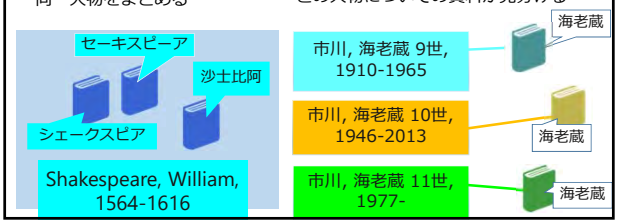
9

典拠データ：資料の検索の手がかりとなる著者名やキーワードを整理してまとめたデータ。NDLでは、著者や件名についての典拠データを作成(約137万件)。

典拠データと関連する書誌データをリンクし書誌データの集合を作ることで、検索キーワードのゆれによる検索もれや検索ノイズを防ぐ

●いろいろな表記がされている同一人物をまとめる

●同姓同名の違う人どの人物についての資料か見分ける



3.典拠データとWeb NDL Authorities

分類・件名の付与

10

NDLでは、書誌データ作成にあたって主題分析を行い、分類や件名を付与している。

- 分類
  - 主題を記号で表現
  - もの・事柄・現象などを、類似のものでまとめたり、異なるものを他と区別したりして、体系化
  - 分類表：日本十進分類法(NDC)、国立国会図書館分類表（NDLC）等

全ての所蔵資料にNDLCを、和図書等の一部にNDCを付与

- 件名
  - 主題をことばで表現
  - 統制語（一定の「きまり」に沿って作ったキーワード）を使用
  - 件名標目表：米国議会図書館件名標目表(LCSH)、国立国会図書館件名標目表(NDLSH)等

和図書の一部と地図にNDLSHを付与

3.典拠データとWeb NDL Authorities

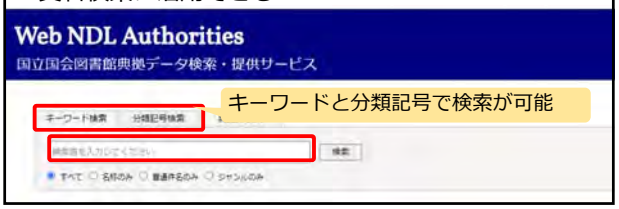
Web NDL Authorities

11

Web NDL Authorities
https://id.ndl.go.jp/auth/ndla

国立国会図書館が維持管理する典拠データを一元的に検索・提供するサービス

資料検索に活用できる

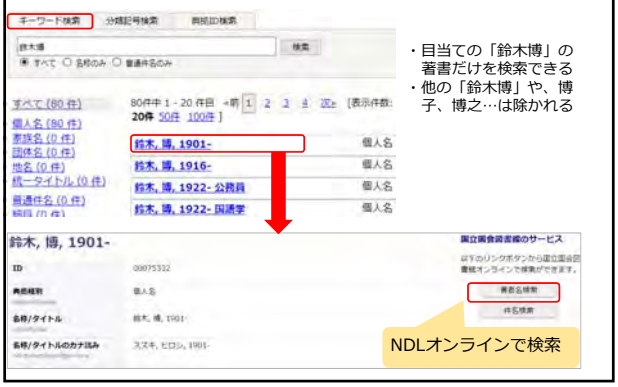


キーワードと分類記号で検索が可能

3.典拠データとWeb NDL Authorities

著者名から検索する

12

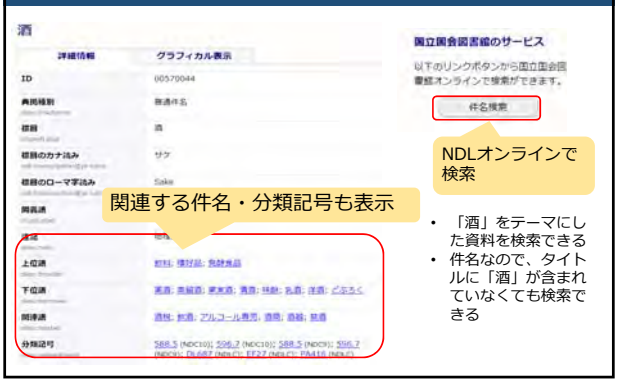


・目当ての「鈴木博」の著書だけを検索できる
・他の「鈴木博」や、博子、博之…は除かれる

3.典拠データとWeb NDL Authorities

件名から検索する

13



- 「酒」をテーマにした資料を検索できる
- 件名なので、タイトルに「酒」が含まれていなくても検索できる

3.典拠データとWeb NDL Authorities

分類記号から件名を検索する

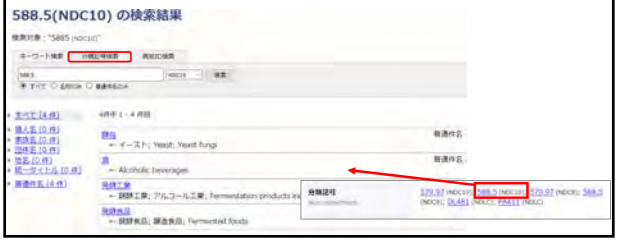
14

十進分類法(NDC)、国立国会図書館分類表(NDLC)から検索可能

分類記号で検索すると、関連する件名が表示される

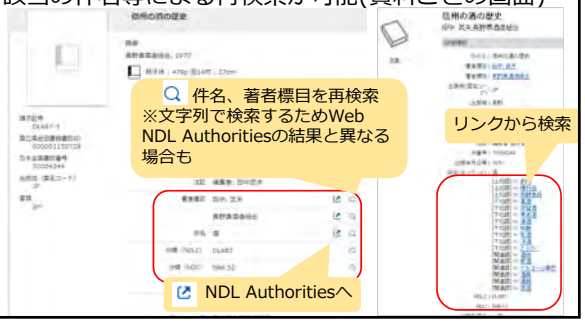
件名の画面の分類記号のリンクからも検索可能

588.5(NDC10) の検索結果



3.典拠データとWeb NDL Authorities

NDLオンライン、サーチでの検索

15

- NDLオンライン、サーチでも分類、件名での検索が可能(詳細検索画面から)
- 該当の件名等による再検索が可能(資料ごとの画面)